2026年度

専願制

総合型選抜

■入試方式の説明

入学志願者の資質と意欲、また勉学面での適性を総合的かつ多面的に審査します。

専願制 合格した場合は必ず京都女子大学に入学することが出願の条件になります。

■入試日程

試験日	エントリー期間	合格発表日	入学手続期間	試験会場
2025年 10/11(土) 10：00～	2025年 9/11（木）～ 9/30(火)	2025年 11/4(火)	(第1次) 2025年 11/5（水）～11/14(金) (第2次) 2026年 1/6（火）～1/19(月)	京都女子大学

■出願資格

京都女子大学で学びたい意思を明確に持ち、合格した場合は本学への入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当する女子。

⑴高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者及び2026年3月卒業見込の者。

⑵通常の課程により12年の学校教育を修了した者及び2026年3月修了見込の者。

⑶学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込の者。

①外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。

②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。

③専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

④文部科学大臣の指定した者。

⑤高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定に合格した者及び2026年3月31日までに合格見込の者。

⑥本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者。
（詳細については、エントリー期間が始まる前に入試広報課へ直接お問い合わせください。☎075-531-7054）

※本入試は専願制の入学試験です。合格した場合は所定の期間内に手続きを終え、必ず京都女子大学に入学することが、出願の条件になります。

■総合型選抜ガイダンス

学科の学びや求める学生像、選考方法等を理解していただくために、6月のオープンキャンパスで「総合型選抜ガイダンス」を実施します。

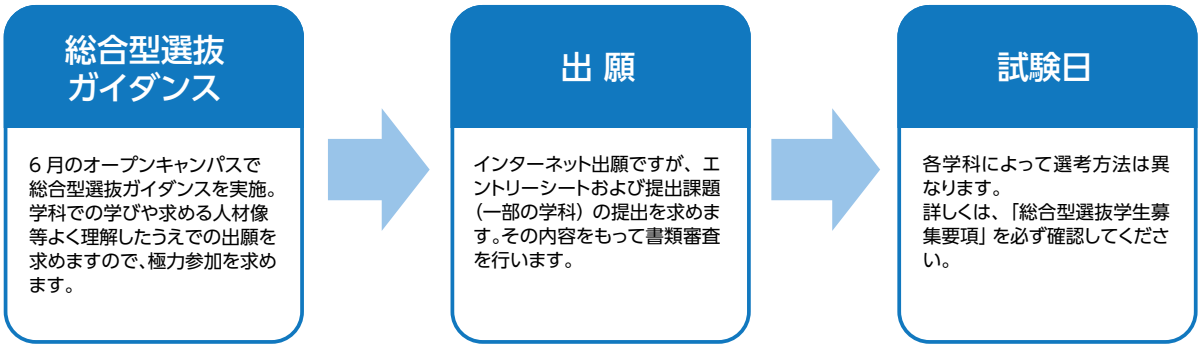
開催日：2025年6月8日（日）（オープンキャンパスの詳細は、本学ホームページでご確認ください。）

オープンキャンパス情報はこちら

この「総合型選抜ガイダンス」は、大学公式YouTubeにてアーカイブ配信する予定です。

本学公式YouTubeチャンネルはこちら

■総合型選抜の流れ



■出願書類　出願書類については、「総合型選抜学生募集要項」で必ずご確認ください。

⑴**エントリーシート**（本学所定の用紙。本人自筆〔鉛筆書きは不可〕）

⑵**調査書**（様式は文部科学省所定のものを使用し、出願前3ヶ月以内に作成され、厳封されたもの）

※調査書が発行できない者は、それに代わる書類

・外国の高等学校卒業（見込）者：外国の高等学校卒業（見込）証明書、成績証明書の原本

・高等学校卒業程度認定試験合格者または大学入学資格検定合格者：合格証明書または合格成績証明書

・高等学校卒業程度認定試験合格見込者：合格見込成績証明書

⑶**音楽実技に関する提出用紙（本学所定の用紙）〈発達教育学部教育学科C方式（音楽実技重視型）出願者のみ〉**

⑷**提出課題**

〈家政学部生活造形学科出願者のみ〉

高校在籍中に製作した自分の作品の写真をA4サイズの紙2枚以上・5枚以下にまとめる。各用紙のタテ上部3センチ分は余白をつくり、そのスペースの左箇所に自分の名前を記入すること。グループで制作したものは、自分の関わった部分を明記すること。

〈現代社会学部現代社会学科出願者のみ〉

高校までの学習や活動における主体的取り組みの成果について（本学所定の用紙〔600字程度〕）

〈法学部法学科出願者のみ〉

大学入学時までの活動目標と計画について（本学所定の用紙〔1,200字程度〕）

⑸**英語外部試験のスコアを証明する書類の写し〈文学部英語文化コミュニケーション学科A方式出願者のみ〉**

2023年4月以降に受験されたものが有効です。対象となる資格については、P.12を確認してください。

■入学検定料

35,000円

■入学前教育について

合格者に対しては、学科ごとに、入学前教育があります。なお、入学前教育の中には費用を必要とする課題もありますのでご留意ください。入学前教育の詳細は、合格者にお知らせする予定です。

総合型選抜学生募集要項は6月発行予定です。ご希望の方はオープンキャンパスにご参加いただくか資料請求（P.85参照）にてお申込みください。なお、本学ホームページ（入試情報）にも掲載します。

■募集人員及び選考方法等

【文学部】

学科	募集人員※	方式	選考方法	配点	選考内容（評価のポイント）
日本語日本文学科	13名	A方式	書類審査	100点	・高校での学修成績及び高校までの活動内容（資格取得などを含む）を総合的に評価する。 ・資格については、日本語と日本文学に関わるものを評価対象とする（例えば、漢字検定、英語検定など）。
			講義及び講義テーマについての小論文	100点	・講義内容を正確に理解できる能力。 ・講義内容から問題点を抽出できる能力。 ・自己の意見を、正しい日本語表現や文章構成によって、的確に文章で表現できる能力。
		B方式	書類審査	50点	・高校での学修成績及び高校までの活動内容（資格取得などを含む）を総合的に評価する。 ・資格については、日本語と日本文学に関わるものを評価対象とする（例えば、漢字検定、英語検定など）。
			筆記試験	100点	・漢字、ことわざ、文法、文学史などについての基礎的学力。
			面接	50点	・質問内容を理解し、自己の意見を正確な言葉でわかりやすく説明する能力。 ・必要に応じて自己の意見を、発展・修正できる能力。
英語文化コミュニケーション学科	13名	A方式	書類審査	50点	・高校での学業成績および活動内容を総合的に評価する。 ・エントリーシートでは、特に「志望理由」を評価対象とし、それを具体的・論理的に説明できる能力をみる。
			英語外部試験スコア表（合格証明書またはスコアシート）	100点	・英語の外部試験は、2023年4月以降に受験したものを評価対象とする。 ・評価対象の英語外部試験は、CEFRのB1レベル以上とし、選考の対象となる試験の種類および要求される成績は以下のとおりである。これらの外部試験のうち、一つの種類の成績のみが選考対象となる（=複数の種類の成績を提出しないこと）。 ケンブリッジ英語検定（140点以上） 実用英語技能検定（2級以上で1950点以上・合否は問わない） GTEC（930点以上） IELTS™（4.0点以上） TEAP（225点以上） TOEFL® iBT（42点以上） TOEIC® Tests（L&R550点以上かつS&W240点以上）
			面接（日本語）	50点	・日本語によるコミュニケーション能力を総合的に評価する。 ・主に志望動機についての質問に対する応答を評価する。 ・自己の考え・意見を具体的に説明し、正確に伝達できる能力をみる。
		B方式	書類審査	100点	・高校での学業成績および活動内容を総合的に評価する。 ・エントリーシートでは、特に「志望理由」を評価対象とし、それを具体的・論理的に説明できる能力をみる。
			面接（英語と日本語）	100点	・英語と日本語によるコミュニケーション能力を総合的に評価する。 ・英語による5分程度の自己紹介を求め、それについての質問に対する応答を評価する。 ・自己の考え・意見を具体的に説明し、正確に伝達できる能力をみる。
歴史学科	13名	—	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得などを含む）を総合的に評価する。 ・エントリーシートでは、歴史学科で学びたいことが具体的で明確に記載されているかを評価のポイントとする。
			小論文	150点	・歴史に関する文章を読んだうえで小論文を書く。それにより、日本史あるいは世界史を中心とする基礎学力、思考力、表現力をみる。

※出願状況および審査結果によっては、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

【発達教育学部】

学科	募集人員※	方式	選考方法	配点	選考内容（評価のポイント）
教育学科	28名	A方式 （活動成果重視型）	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得・受賞歴等を含む）を総合的に評価する。
			プレゼンテーション	100点	・学習（探究）活動や課外活動における成果についてプレゼンテーションを行う際の、発想の豊かさ、視野の広さ、探究心、論理的構築力、表現力、コミュニケーション力、説得力を持って伝える力等を評価する。
			面接	50点	・大学での学びや教育・保育に取り組む意欲、また、関連する質問に対して論理的・説得的に回答できるかどうか等を評価する。
		B方式 （小論文重視型）	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得・受賞歴等を含む）を総合的に評価する。
			小論文	100点	・教育・保育の現代的な課題についての理解力、思考力、表現力について評価する。
			面接	50点	・子どもから大人までの学びと育ちに関する興味関心やコミュニケーション能力を評価する。（エントリーシートに関する自己アピールを含む）
		C方式 （音楽実技重視型）	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得・受賞歴等を含む）を総合的に評価する。
			音楽実技	100点	・すべての実技において、適切な解釈のもとで、豊かな表現力が備わっているかを評価する。（P.46参照）
			面接	50点	・自己の考えを論理的に表現・説明する能力及びコミュニケーション能力を評価する。
		D方式 （海外教育志向型）	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得･受賞歴等を含む）を総合的に評価する。
			プレゼンテーション	100点	・海外の保育・教育や自身の留学経験等についてプレゼンテーションを行う際の、視野の広さ、探究心、論理的構築力、表現力、コミュニケーション力、説得力を持って伝える力等を評価する。（留学経験の有無は問わない）
			面接	50点	・大学での学び（特に、海外教育フィールドワークや留学）に取り組む意欲、また、関連する質問に対して論理的・説得的に回答できるかどうか等を評価する。

※出願状況および審査結果によっては、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

【心理共生学部】

学科	募集人員※	方式	選考方法	配点	選考内容（評価のポイント）
心理共生学科	20名	A方式	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得等を含む）およびエントリーシートについて総合的に評価する。
			小論文	100点	・実験データ等の科学的な内容および心理社会的な事象に関する文章を読み、指定された問いに対して論述する。それにより思考力・表現力を評価する。
			グループ面接	50点	・心理学、社会福祉学、養護・保健学のいずれかに関する興味・関心やコミュニケーション能力・柔軟性を評価する。
		B方式	書類審査	100点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得等を含む）およびエントリーシートについて総合的に評価する。
			小論文	50点	・実験データ等の科学的な内容および心理社会的な事象に関する文章を読み、指定された問いに対して論述する。それにより思考力・表現力を評価する。
			個人面接	50点	・心理学、社会福祉学、養護・保健学のいずれかに関する興味・関心やコミュニケーション能力・柔軟性を評価する（エントリーシートの自己アピールを含む）。

※出願状況および審査結果によっては、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

2026年度 総合型選抜

【家政学部】

学科	募集人員※	選考方法	配点	選考内容（評価のポイント）
食物栄養学科	10名	書類審査	50点	・高校での学業成績及び活動内容（資格取得等を含む）を総合的に評価する。
		食物栄養に関する記述式テスト	100点	・食物・栄養に関する基礎的な記述式のテスト。 ・テスト問題は「フードデザイン」の教科書を中心に出題し、解答は記述式とする。これにより「思考力、判断力、表現力」を評価する。
		面接	50点	・学科への適性、積極性、意欲などを評価する。
生活造形学科	10名	書類審査	30点	・高校での学業成績、課外活動、エントリーシート（資格取得等を含む）を総合的に判断する。 ・提出された作品の内容を精査する。
		デッサン	30点	・与えられたモチーフを的確に配置し、描写、表現する力を評価する。
		構想表現	30点	・与えられた課題を解釈する思考力や発想力、それをイラストと文章で説明する表現力を評価する。
		グループ面接	10点	・学科への適性、積極性、意欲などを評価する。

※出願状況および審査結果によっては、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

【現代社会学部】

学科・領域	募集人員※	方式	選考方法	配点	選考内容（評価のポイント）
現代社会学科 現代社会領域	9名	A方式	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得等を含む）を総合的に評価する。 ・高校での主体的取り組みの成果を出願時に提出された課題等を通じて評価する。
			小論文	100点	・現代社会の諸問題を論理的に理解する能力、及び自己の見解を表現する能力を評価する。
			面接	50点	・社会の諸課題に取り組む意欲と、質問に対して論理的に回答できるかどうかを評価する。
		B方式	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得等を含む）を総合的に評価する。 ・高校での主体的取り組みの成果を出願時に提出された課題等を通じて評価する。
			プレゼンテーション・質疑応答	150点	・現代社会の諸問題を論理的に理解する能力、及び自己の見解を表現する能力を評価する。 ・社会の諸課題に取り組む意欲と、質問に対して論理的に回答できるかどうかを評価する。
現代社会学科 経済・ビジネス領域	6名	A方式	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得等を含む）を総合的に評価する。 ・高校での主体的取り組みの成果を出願時に提出された課題等を通じて評価する。
			小論文	100点	・現代社会の諸問題を論理的に理解する能力、及び自己の見解を表現する能力を評価する。
			面接	50点	・社会の諸課題に取り組む意欲と、質問に対して論理的に回答できるかどうかを評価する。
		B方式	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得等を含む）を総合的に評価する。 ・高校での主体的取り組みの成果を出願時に提出された課題等を通じて評価する。
			プレゼンテーション・質疑応答	150点	・現代社会の諸問題を論理的に理解する能力、及び自己の見解を表現する能力を評価する。 ・社会の諸課題に取り組む意欲と、質問に対して論理的に回答できるかどうかを評価する。
現代社会学科 メディア・文化領域	10名	A方式	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得等を含む）を総合的に評価する。 ・高校での主体的取り組みの成果を出願時に提出された課題等を通じて評価する。
			小論文	100点	・現代社会の諸問題を論理的に理解する能力、及び自己の見解を表現する能力を評価する。
			面接	50点	・社会の諸課題に取り組む意欲と、質問に対して論理的に回答できるかどうかを評価する。
		B方式	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得等を含む）を総合的に評価する。 ・高校での主体的取り組みの成果を出願時に提出された課題等を通じて評価する。
			プレゼンテーション・質疑応答	150点	・現代社会の諸問題を論理的に理解する能力、及び自己の見解を表現する能力を評価する。 ・社会の諸課題に取り組む意欲と、質問に対して論理的に回答できるかどうかを評価する。

※出願状況および審査結果によっては、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

【法学部】

学科	募集人員※	選考方法	配点	選考内容（評価のポイント）
法学科	5名	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得等を含む）を総合的に評価する。
		小論文	100点	・読解力と思考力および文章表現力を評価する。
		面接	50点	・法律や社会の仕組み、政治に関する興味・関心やコミュニケーション能力・柔軟性を評価する。

※出願状況および審査結果によっては、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

【データサイエンス学部】

学科	募集人員※	選考方法	配点	選考内容（評価のポイント）
データサイエンス学科	10名	書類審査	50点	・高校での学業成績及び高校までの活動内容（資格取得を含む）を総合的に評価する。
		小論文	50点	・グラフやデータを含む資料から読み取れることを問う出題をし、その解答から論理的な思考力・表現力を評価する。
		面接	100点	・データサイエンスに関する興味・関心やコミュニケーション能力・柔軟性を評価する。

※出願状況および審査結果によっては、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

■2025年度 総合型選抜入試結果

学部・学科・方式		志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
文学部	国文学科 A方式	5	5	4	1.3倍
	国文学科 B方式	19	19	12	1.6倍
	英語文化コミュニケーション学科 A方式	10	10	10	1.0倍
	英語文化コミュニケーション学科 B方式	4	4	4	1.0倍
	史学科	22	22	16	1.4倍
発達教育学部	教育学科 A方式	16	16	14	1.1倍
	教育学科 B方式	14	13	13	1.0倍
	教育学科 C方式	12	12	11	1.1倍
心理共生学部	心理共生学科 A方式	8	8	5	1.6倍
	心理共生学科 B方式	27	27	22	1.2倍
家政学部	食物栄養学科	33	33	17	1.9倍
	生活造形学科	8	8	7	1.1倍
現代社会学部	現代社会学科 A方式	18	18	18	1.0倍
	現代社会学科 B方式	7	6	6	1.0倍
法学部	法学科	2	2	2	1.0倍
データサイエンス学部	データサイエンス学科	13	13	12	1.1倍
合計		218	216	173	—

※国文学科は、2026年度入学者選抜より「日本語日本文学科」に名称変更します。
※史学科は、2026年度入学者選抜より「歴史学科」に名称変更します。
※教育学科D方式は2026年度より実施のため、昨年度結果はありません。
※現代社会学科は、2026年度入学者選抜より新たに「現代社会領域」「経済・ビジネス領域」「メディア・文化領域」の3領域を設置します。